

歳

時

記



(写真提供：鹿嶋市企画部広報広聴課)

弥生 鹿島 祭頭祭

鹿島神宮は古来「常陸一の宮」として崇拜されてきた名社です。武神・たけみかづちのみこと武甕槌命を祀っており、多くの祭事が行われています。その中で最も盛大で、春の到来を告げるのが祭頭祭です。

防人さきしりとして徵集された関東の兵士たちは鹿島へ集合し、武運の長久と道中の安全とを祈念し、出立しました。これが「鹿島立ち」という言葉の由来です。祭頭祭は任期を終えて凱旋する防人たちの勇ましい様子を今日に伝えるものといわれます。

当日は祭り一色となります。色あざやかな装束に身を包み、手にした6尺(約180cm)の樅の棒を組んでは解きつつ、練り歩きます。祭り囃子、ホラ貝や太鼓の音と相俟って、祭りは一層盛り上がります。

期日：3月9日

場所：鹿嶋市宮中、鹿島神宮

(鹿島臨海鉄道大洗鹿島線

鹿島神宮駅下車徒歩5分)

さ

い

じ

め